

災害時の迅速で的確な、 消防・救急・救助活動を支援する 最新鋭の消防救急デジタル無線



千曲坂城消防本部 消防長
望月 則男

ご挨拶

消防用無線局は、アナログ通信方式により150MHz帯の周波数を使用して運用していましたが、電波法関係審査基準が平成15年10月に改定され、消防救急無線としてデジタル通信方式が規定されるとともに、消防用無線局における150MHz帯の周波数の使用は平成28年5月31日までとされました。この法規改正により、アナログ通信方式の消防用無線局が使用できなくなることから、千曲坂城消防本部は、平成25年度よりデジタル通信方式による消防用無線局の整備を進め、平成27年4月1日より消防救急デジタル無線システムの運用を開始いたしました。

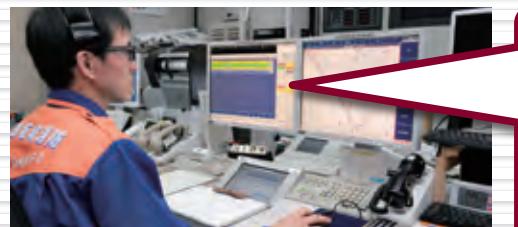
また、同年度に通信指令装置の高機能化整備を図り、119番の受理から消防車、救急車の出動指令、災害支援情報の発信等、防災力の向上を目指します。

消防本部（消防指令センター）



千曲市、坂城町の消防・救急業務における情報通信の中核となる消防指令センター。管内からの119番通報や火災・救急・救助などの災害に関する情報が集約され、災害に適した消防隊等を編成して出動指令を行い、消防署所、出動隊に対し指令伝達を行っています。

指令装置



デジタル無線の操作を手元で行えるため、移動することなく指令を行うことができます。

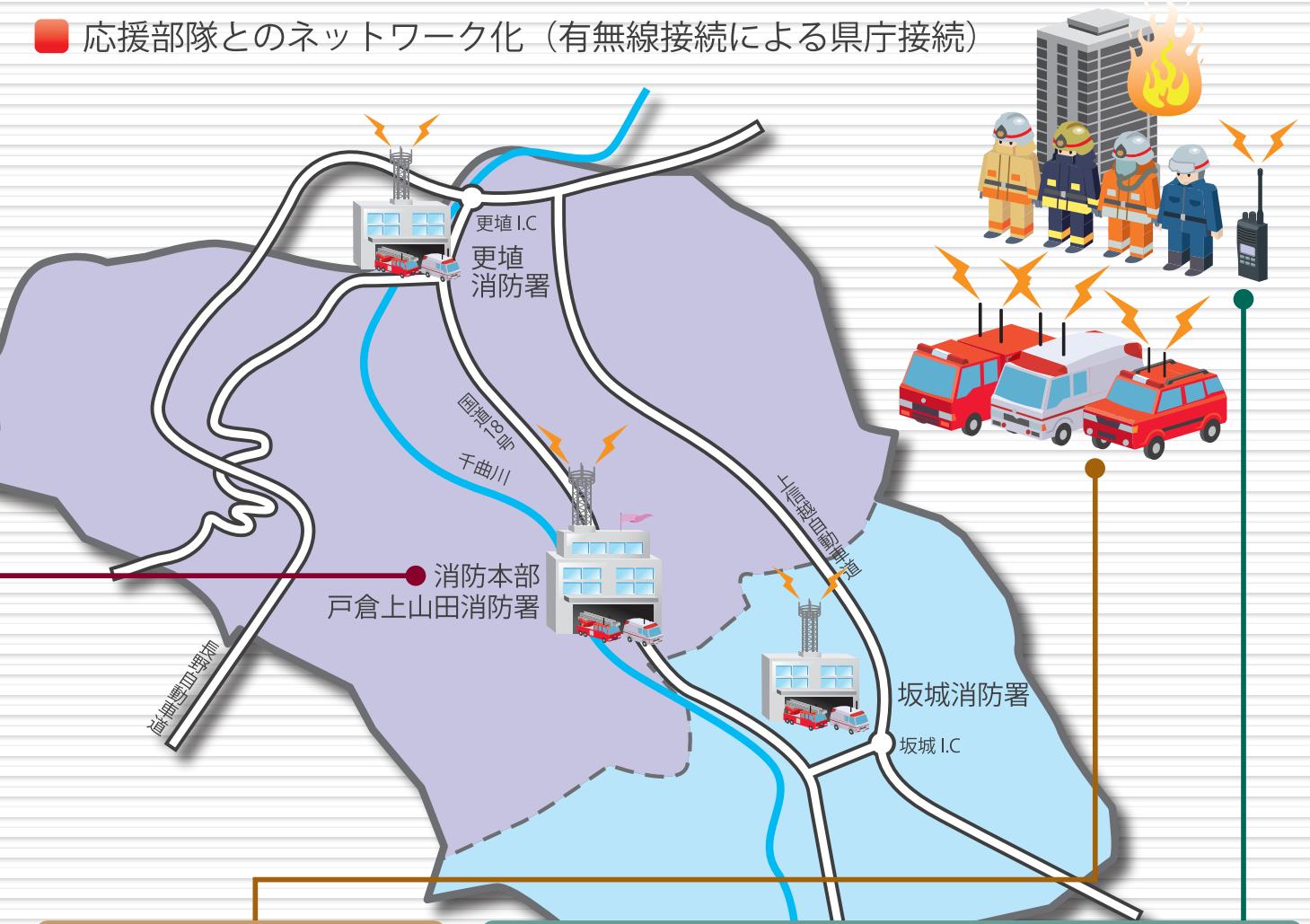
遠隔制御装置



消防指令センターに設置、無線回線制御装置と接続されており、移動局との無線交信に使用します。

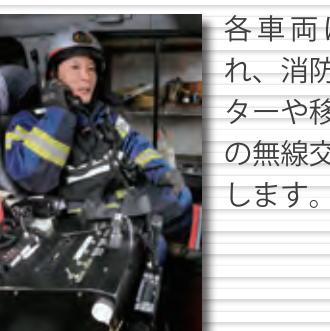
消防救急デジタル無線の特長

- 音声が明瞭
- 一斉通信可能（基地局から全移動局に通信）
- 基地局折返し通信可能（移動局間通信）
- 移動局間直接通信可能（基地局を経由しない）
- ダイバーシティ受信対応（アナログ無線と同等のエリア確保）
- 無線チャンネルが全国で123波に増波
- 専用音声コーデックにより通信秘匿性の向上（個人情報保護可能）
- 応援部隊とのネットワーク化（有線接続による県庁接続）



車両

車載型移動局無線装置



各車両に搭載され、消防指令センターや移動局同士の無線交信に使用します。

災害現場

携帯型移動局無線装置



消防隊員が災害現場で使用する無線装置です。強度な防水性を備え、集中豪雨等の災害時にも屋外で使用できます。

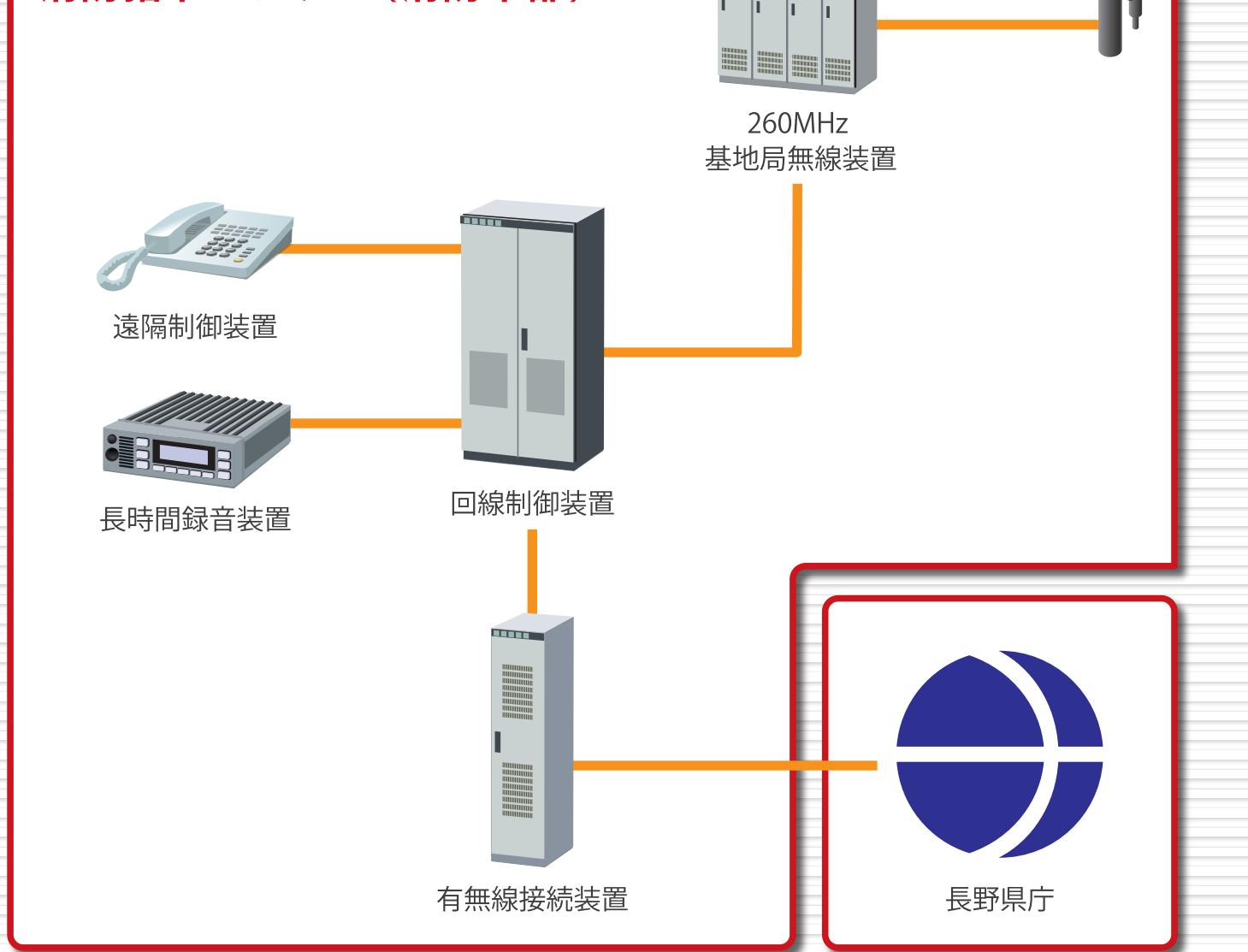
可搬型移動局無線装置



主に災害現場（指揮本部）で使用する可搬型の無線装置です。平常時には、卓上型としても使用できます。

システム構成図

消防指令センター（消防本部）

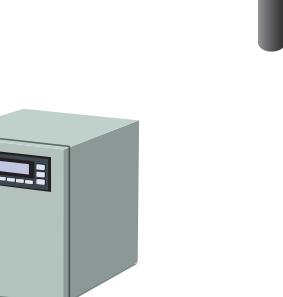


更埴消防署



260MHz
卓上型固定移動局無線装置

坂城消防署



260MHz
卓上型固定移動局無線装置